◆TEKU･TEKU 2020★旧中山道／巣鴨・滝野川・板橋を歩く（活動記録）◆

企　画■街道を活かしたまちづくり／巣鴨～滝野川～板橋を歩く（旧中山道と板五米店）
日　時■２０２０年2月２２日（土）１３：００～１７：００
コース■前半（街道ウォーキングコース、約２．５キロ）
巣鴨駅北口～真性寺（江戸六地蔵）～地蔵通商店街＋高岩寺（とげぬき地蔵）～中山道待夢（巣鴨地域文化創造館）～庚申塚・都電踏切～滝野川たねや街道（東京種苗ほか）～大正大学・地域開放型キャンパス（中山道テラス、エスパス空）～掘割・千川上水分水堰～亀の子束子本舗～滝野川種苗～板橋駅東口
コース■後半（板橋宿まち歩きコース、約２．５キロ）
板橋駅東口～近藤勇・土方歳三墓所～赤羽線・仲仙道踏切～平尾追分（川越街道分岐点）～観明寺～板橋三丁目宿縁広場～おとなりスタンド＆ワークス（カフェ、コ･ワーキングスペース）～王子新道交差点～板五米店（おむすびカフェ、町のギャラリー）～遍照寺～本陣飯田家跡～板橋＋石神井川緑道（蛇行跡）～本町にぎわい広場～板橋区公文書館＋ボローニャ子ども絵本館～縁切榎～板橋本町駅
参加者■◎大竹　亮、井手幸人、伊藤貴敏、上野朋子、栗原　徹、重永真理子、鈴木丞二、高橋　謙、高梨健一、竹下香里、村田英樹、吉川盛一（以上１２名、敬称略、◎コーディネイター）
企画主旨■前回の旧東海道に続き、今回は旧中山道を巣鴨(豊島区)～滝野川(北区)～板橋(板橋区)と歩きます。この区間は国道１７号と並行して旧道が残り、多くの史跡や由緒ある社寺のほか、庶民的な商店街が続いています。巣鴨からの「地蔵通り」商店街は、多くの昔ながらのお店が並び、高岩寺とげぬき地蔵の参詣者を中心に賑わっています。「たねや街道」と言われた滝野川地区には、かつて種屋や植木屋が集まっており、沿道の大正大学では地域開放型のキャンパス整備が進んでいます。江戸四宿の一つ「板橋宿」は延長２キロに及ぶ長い宿場で、現在も商店街が続いています。昨年末には、中山道の宿場情緒を未来につなぐ拠点として、重厚な商家を保存活用した「板五米店」がオープンしました。近くにはリノベーション空間「おとなりスタンド＆ワークス」もあり、街に変化の兆しが出てきています。旧街道はその先、石神井川を渡り、パワースポットとして有名な「縁切榎」に至ります。
　中山道の巣鴨・滝野川・板橋を歩き、東京における歴史･街道を活かしたまちづくりを一緒に考えてみましょう！

＜参加者の意見・評価＞
１◆旧中山道／巣鴨・地蔵通商店街について　　評価:3.80　内訳:AAAAABBBBC
（真性寺～地蔵通商店街～高岩寺・とげぬき地蔵～中山道待夢～都電庚申塚）
評価Ａ●昭和の香りがする商店街、銘店も多く風格が感じられる
評価Ａ●庚申塚交差点までは、活気がありつつ、忙しない感じはせず、のんびりと歩きやすいと思いました。
評価Ａ●低層建築が多く、どこか懐かしさを感じさせる町並みを形成している。路面店は対面販売が多く、江戸六地蔵が祀られている真性寺など純粋な下町ではないのだろうが下町風な風情を醸し出してはいた。また、唯一残る都電の庚申塚駅中の茶店「いっぷく亭」もこの町に人を呼び寄せる魅力の一因ではないかと思った。
評価Ａ●有名観光地として成立している。
評価Ａ●おばあちゃんの原宿として定着している。
評価Ｂ●とげぬき地蔵を中心とした観光地の商店街だが、おばあちゃんの原宿らしい商店が軒を連ね、独特の個性を生み出している。新型ウイルスの影響で高齢者が少なかったのか、ほどほどの賑わいだった。
評価Ｂ●高齢者だけの店の他、雑貨店、京都等のアンテナショップなど歩いて楽しい通りである。
評価Ｂ●にぎわいのある楽しい商店街。真性寺から高岩寺までは観光地のような店が多いが、そこを過ぎると懐かしい昭和の商店街という感じになる。新しいこだわりショップも点在し、歩行者優先でとても歩きやすい。
評価Ｂ●昔からの老舗と新しいお店が混在してにぎわいを生んでいるのはいいと思います。柴又帝釈天の門前通りのように建物の風情があればいいが、通りの街並みは雑多なのが残念。

高岩寺･とげぬき地蔵(右)と巣鴨地蔵通商店街

都電庚申塚駅とホームに面する甘味処

２◆旧中山道／滝野川・たねや街道区間について　　評価：3.20　内訳：AAABBBBBCC

（都電庚申塚～東京種苗～大正大学～掘割・千川上水分水堰～亀の子束子～赤羽線踏切）

評価A●観光地風情が漂う地蔵通り商店街とは対照的に、たねや街道区間は地元生活商店街の性格が色濃く不思議な懐かしさを感じさせる。東京種苗、亀の子束子、滝野川種苗などにわずかに往時の面影が残り、ほかにも町家やレトロな商店が見られるものの、再生活用された事例は少なく、全体に元気がないのが残念。そんな中で、大正大学キャンパスの存在と地域開放の試み（中山道テラス、エスバス空、ガモール鴨台食堂など）は、沿道に刺激をもたらしている。

評価A●旧中山道沿いに現存している東京種苗の並びの風景は、かつて「種子は滝野川」と称された明治の面影を残す町家建築であり、亀の子束子の社屋も大正ロマンが感じられる建物でした。

評価A●古き良き雰囲気を残している。

評価B●この通りはこれからですかね、ほとんど大きくは手が入れられていないようでしだが。

評価B●昔の町並みの雰囲気が少し残っている。

評価B●往時のままの東京種苗は素敵でした。

評価B●都電庚申塚までの区間に比べると店舗の密度が下がって観光地の様相が無くなり、交通量も増えて若干面白味に欠けてくるように思いました。

評価B●昔ながらの店舗の構えが旧街道の面影を残している。

評価C●都電庚申塚の辺りは商店街らしい賑わいがあるが、駅から少し離れると商店もまばらでマンション化も進んでいないので、地方都市のような雰囲気。

滝野川たねや街道の往時を想わせる東京種苗

板橋上宿･縁切榎から板橋本町への旧道風景

３◆旧中山道／板橋宿（平尾・仲宿・本町）の区間について　　評価：3.40　内訳：AAABBBBBBC

（赤羽線踏切～平尾追分～板五米店・おとなりスタンド＆ワークス～板橋・石神井川蛇行跡～縁切榎）

評価A●中山道板橋宿は全長２キロにわたる長い宿場で、それが現在も旧道商店街として延々と続いており、生活感のある一帯となっている。全体に今も旧家・商家がところどころに残るが、特に王子新道交差点付近では板五米店＋おとなりスタンド＆ワークスの再生活用の試みが地域に刺激を与え、次々と連鎖反応が生じると面白くなるだろう。

評価A●板橋駅前に新撰組局長近藤勇の墓所・板橋刑場や真言宗観明寺と最古の庚申塔を見て、春には美しい桜の名所と化す石神井川周辺。石神井川はかつて加賀藩下屋敷内を流れていたと言われ、当時の大大名前田家の隆盛のその多くは失われてはいますが、当時を偲ぶことができました。また、縁切榎も向いの店舗改築に伴い植え替えられたということでしたが、そのご利益に預かるべく絵馬の奉納が多数見受けられました。

評価A●なかなか過去の商業建築（塗り壁、煉瓦造ほか）があり見どころがありました。

評価B●味わいのある商店街がかなりの長さで続く。従来型の商店に加えて板五米店やおとなりスタンド＆ワークスなどの新たな試みが動きつつあり、これからが期待される。

評価B●全体が歩行者優先で歩きやすかった。幅員については「ちょうどよい」と感じました。街道の宿場町ならではの歴史（史跡、寺院）、昭和の暮らしの場、緑のある空間が混在しているのが良いと思いました。

評価B●旧中山道沿いに商店街の風情が残っているのは評価できる。

評価B●良い雰囲気を残している。

評価B●板橋駅東口から踏切まで通った狭い道は、風情があり良かったと思います。西口に渡ってから国道17号・首都高環状線に至るまでの道は、駅周辺の良くある商店街という雰囲気で特色に欠けるように思いました。首都高環状線を越えた先の道は歩道も確保されているのですが、自転車が多く、意外と車の通行も多いため思ったより注意が必要と感じました。

評価B●縁切榎がマジ怖かった

評価C●縁切榎の想いを記した絵馬は恐ろしかったです。

４◆板五米店＋おとなりスタンド＆ワークス　　評価:4.64　内訳:AAAAAAAAABB

評価A●仲宿にある築100年の板五米店をおむすびカフェとして上手に再生・活用している良い例であると思います。おむすびカフェも是非利用したいので、再来したいと思わせる建物でもありました。おとなりスタンド＆ワークスも地域住民間のコミュニケーションの場を提供しているユニークな存在でした。

評価A●おとなりスタンド＆ワークスは、雰囲気も良く地域の新たな拠点になりつつある。板五米店はとても良い建物なので、おむすびカフェだけではもったいない。

評価A●板五米店は昔の米屋をおにぎり屋さんにきれいに改修していて、デザイン的にもすばらしい。おとなりスタンド＆ワークスは部外者は若干入りにくいが、地域の方々の交流の場としてはいいのではないでしょうか。

評価A●子供さんたちを連れたお母さんたちに活用されていた「おとなりスタンド＆ワークス」の今後の展開（こうした活動が地域に連鎖していくような感じがしました）が楽しみ。

評価A●板五米店は、普通の生活商店街の真ん中で、このような重厚な伝統町家を改装したおむすびカフェが誕生したのは心強い。おとなりスタンド＆ワークスは、カフェがコミュニティの交流の場になっているようで、これからに期待したい。これらが契機になって、旧街道の遺伝子を活かした動きが始まると面白いのだが。

評価A●両者とも楽しい空間となっていました。おにぎり食べたかったです。

評価A●商店街の空き店舗の再利用を進めている活動が素晴らしい

評価A●新たな風が吹いている。

評価A●煉瓦補強が出来ているならいいですが、少し心配。でもとてもいい実例ですね。

評価B●建物をリフォームして利用されているとのことで、興味深く拝見しました。

評価B●板五米店は、神棚なども含め往時の雰囲気が伝わってくる。フローリングの改修も適度にモダン感があって心地よい。おとなりスタンド＆ワークスは、裏の方の改修状況が不思議で、元々どうだったのか？何をしようとしたのか？と興味が尽きない。何をやっている所なのか、初めての人にはよくわからないのが残念。

板橋仲宿商店街の旧家を保存活用した板五米店

板橋平尾宿商店街のおとなりスタンド＆ワークス

５◆大正大学・地域開放型キャンパス　　評価:3.80　内訳:AAAAABBBBC

評価A●明治通りに正門を構える大正大学が、裏手の旧中山道側で地域連携しているのに驚いた。広々として休憩できる中山道テラス、休日も開くギャラリー・エスパス空（くう）、展望の良いレストラン・ガモール鴨台食堂（おうだいじきどう）だけでなく、キャンパス内や建物ロビーを広く市民に開放しているのが素晴らしい。さらに、商店街にチャレンジショップ・座ガモールを数か所に出店しているのも、街への展開として興味深い。

評価A●現在の日本が抱える社会的課題である地域問題に、都市の視点で地域活性化に貢献し、地方の視点で都市問題にアプローチする力を養成する地域創生学部なども有する大正大学の理念を実現している空間構成であったと思います。

評価A●きれいな大きな建物が立ち並び、ギャラリーなどもあり、ふらりと立ち寄ってもいろいろな興味を持って過ごせるように思いました。

評価A●大学の施設を地域に公開している大正大学の試みは素晴らしい。

評価A●建物も素晴らしいが、アンテナショップ座ガモールのコンセプトもよかった。

評価B●現代の栄螺堂や様々な様式の校舎など不思議な雰囲気のキャンパスだが、地域に開放されて、レストランや特産品店などを運営しているのはいいと思います。

評価B●外と中をつなぎつつ、大学が地域にでていっている感じが良かったです。

評価B●大学が市民開放に努力していることが理解できた。

評価B●大学本体は地域に開放されているものの、街への情報発信があまり感じられなかった。鴨台花壇カフェや座ガモールの活動はなかなか面白い。

評価C●あの場所での開放エリアが平日ではどれくらい、市民と学生とのコミュニティカレッジとして共生できているのか、また市民が溜まる状態等を一般時に見てみたい感あり、でした。

西巣鴨・大正大学の地域開放型キャンパス

板橋上宿・板橋区ボローニャ子ども絵本館

６◆板橋区公文書館＋ボローニャ子ども絵本館　　評価：2.80　内訳：AAABBBCCCC

評価A●小学校だった建物とのことですが、色々な飾りつけがなされていて雰囲気の良い建物でした。また、絵本館の同じ絵本の外国語版と日本語版をそろえて所蔵しているコーナーでは、表現を比較することができ、大人でも楽しめると思いました。

評価A●2000年4月に誕生した板橋区公文書館内にあるボローニャ子ども絵本館には、原語と日本訳の絵本が対になって陳列されており、そのニュアンスにかなり隔たりもある内容で訳されているものもあることに気づかされました。通常であれば、多くの利用者が閲覧し、活用されている場所であろうと想像していました。

評価A●統廃合された小学校校舎を地域の拠点としてそのまま利用しているのが良い。公文書館やボランティアセンターと合わせて設けられたボローニャ子ども絵本館は、小さいながらも居心地がよく、世界各国の美しく楽しい絵本を手に取って眺められる貴重な施設。ただ文字が外国語なので子供向けではないし、英語以外が多くて大人による読み聞かせも難しいのが課題（英語圏と仏語圏の国の絵本のみ、何とか読めました）。

評価B●良い施設だと思う。

評価B●廃校の有効利用としては結構だと思いますが、校舎が魅力的でない。

評価B●廃校となった学校の再利用であるが、バリアフリーに配慮が足りないと感じた。

評価C●ボローニャ子ども絵本館自体は、何度でも行きたいところ。解説などつけずに「各国の絵本が置いてあるだけ」の地味さも気に入りました。私はここの絵本たちと２時間は過ごせますが、空間はそうなっていないと思います。学校の活用というより「たまたま空き校舎があったので使った」にとどまっているように思えました。「どこにでもある校舎を市民の居場所にする」ことへの本気度が伝わってこないのが「残念」。

評価C●与えられた場所での限界の感じもするが、裏の運動場に施設などができたらどうなるかが楽しみですね。

評価C●ボローニャ子ども絵本館は、素敵な絵本がたくさんある魅力的な場所だったのですが、人が（私たち以外に）いなかったが残念でした。

評価C●子ども絵本館なのに子供をひとりも見なかった。

７■当日歩いた中で特に印象的だった場所・出来事

＜巣鴨地蔵通商店街地区＞

地蔵通への入口★新道と旧道の分岐点が交差点改良され、横断歩道や広場など歩行者優先に再整備されつつある。

巣鴨エリア歩道★おばあちゃんの原宿、販売要素がピンポイント、赤パンツも。大学のアンテナショップ出店は面白いですね、年寄り嗜好の統計は具体的に取らないと判らないと思いますし、極めて重要でしょうね。

とげぬき地蔵（高岩寺）★何度来てもいい。

とげぬき地蔵★とけぬき地蔵尊を中心とした様々なイベント。

とげぬき地蔵★新型ウイルスでも高齢者の参拝客が思ったよりも居て、根強い人気があるのだなと思いました。

地蔵通商店街★人通りが少なかったのでよく見渡せる状況で、門前町の商店街の雰囲気を十分楽しめました。

地蔵通商店街★

座・ガモール★大正大学の地域貢献で東北や京都のアンテナショップを出すという試みは面白い。

座・ガモール★観光商店街や庶民商店街の中で、一味違ったお洒落なテイストの魅力的なスペースだった。

＜滝野川たねや街道地区＞

都電庚申塚駅★都電の駅に甘味屋があり、飲み屋までついている。

都電庚申塚駅★都電の駅では珍しく店舗が併設されている。

大正大学★歴史は古いのに常に最新のトレンドを取り込み、キャンパスを地域開放するなど躍動感が溢れていた。

大正大学の地域開放キャンパス★屋外だけでなく建物内にも多くの開放空間があって驚いた。素晴らしい試み。

鴨台食堂などの大正大学運営カフェ★地域とのコミュニケーションの図られる場所として有効活用されている。

旧東京種苗★付近の数軒とともに、町家が建ち並ぶかつての街道風景を偲ぶことができる。
滝野川種苗★往時のたねや街道を承継する貴重な存在。一時休業中とのことで今後が心配。
滝野川地区商店街★現在も下町風かなと思っていましたが、大分変ったようですね。
千川上水跡★板橋駅東口周辺で解説していただき、尾根筋を通っているのが良くわかりました。
近藤勇墓所★きれいに整備されており、大切にされていると感じました。
板橋駅北側の路地★飲み屋が連なる狭い路地がなかなか。
埼京線を渡る踏切★「赤羽線仲仙道踏切」と表示されている。「赤羽線」も懐かしいが、「仲仙道」にもびっくり！
＜旧中山道板橋宿地区＞
板橋３丁目の塔屋ある建物★塔屋が印象的で、空き家のようなのでうまく活用できると面白そう。
おとなりスタンド＆ワークス★良いカフェだった。
おとなりスタンド＆ワークス★これからの仕掛けが楽しみな施設。
板五米店★100年以上前の町家が未来へと再生利用されているところが魅力的です。社会資本である町家・住宅がリノベーションすることでその価値を維持し、永く利用することができている良い例ではないかと思います。
板五米店★既存のものを使いつつ、魅力的な空間となっていると思いました。
板五米店★
板橋宿★学生時代に板橋本町にいた際、少し街歩きをすればよかったと思いました。煉瓦造の店など耐震補強してできれば街の財産として延命して欲しい。当時の煉瓦造は言わば富の象徴でもあるのでお金がある商家のみ。
板橋宿（仲宿商店街）★近隣住民の生活商店街だが、個性的な路面店が並び、とても賑わっていた。
板橋宿のお肉屋さん＋喫茶店紙風船と遍照寺★真新しい遍照寺本堂の新鮮さと二つの店舗とのコントラストが面白かった。喫茶店は廃屋にも見えるのですが（注：１月調査時は営業していた）、再生してほしい。
遍照寺★新しい参道と境内のデザインセンスがとてもいい。横の喫茶店・紙風船も魅力的で気になる謎の存在。
ボローニャ子ども絵本館★世界の絵本が読めた。
ボローニャ子ども絵本館★原本と翻訳版の「違い」を比較できて楽しかった。「海外絵本（英語・イタリア語）翻訳コンクール」を毎年やっているとのこと。いいね！！挑戦してみようかな、と一瞬思えた。
縁切榎★街道を歩いていて漫然と立ち寄ると、由緒とご利益にハッとさせられる。
縁切榎★聞いてはいましたが訪問は初めて。札のコメントは少しショックでした。
縁切榎★地元の方が説明してくださり、良くわかりました。「リセットみくじ」というおみくじが、ガチャガチャで売られているのが面白かったです。
縁切榎向いのお蕎麦屋のおじいちゃん★地元の思いが肌で感じられました。まだまだ記憶をつないでほしいです。
縁切榎から板橋本町までの商店街★人通りと賑わいは仲宿商店街に及ばないが、町家が残る何とも懐かしい風景。

地蔵通商店街の大学アンテナショップ「座・ガモール」

旧中山道が埼京線を渡る「赤羽線・仲仙道踏切」

板橋仲宿に構える遍照寺のモダンな参道と本堂

板橋上宿・縁切榎には数々の歴史的伝承が

８◆旧中山道沿道の街の将来像と、そのためのまちづくりについて

●広幅員の中山道（国道17号）に比べて旧中山道沿道は、駅周辺以外は開発がそれほど進んでいないようなので、既存建物のリノベーションなどによって新たな機能を徐々に導入し、その中で街の方向性を見極めてゆくのが良いのではないだろうか。

●岡部耳鼻咽喉科の建物などモダンな建物がいくつか残っています。空き家になっている建物はリノベして使用するなどして、街の記憶を継承しつつまちづくりが進められるといいですね。

●やはり人溜まりポイントとなるべく要素を幾つか置く必要性あり。石・煉瓦の建物を改修利用してその地の歴史を記憶させ、少しは形をかえても伝承してほしい。「縁切榎」もその要素だが、その場やその建物などの前・後の内容をしっかり残し、その意味を記録、伝承して欲しいです。

●地蔵通の観光商店街と仲宿の生活商店街は賑わっているが、それ以外は厳しい状況。交通便利なので生活の場として新たな人が集まる拠点が出来てくると面白い。おとなりスタンド＆ワークスにその兆しがある。街道という観点からは、沿道の史跡をつないで、とげぬき地蔵から縁切榎まで歩くのがブームになれば活性化の一助に。

●地元の人は中山道を意識はしていないと思うが、今回改めて街道を歩くと繋がりを感じた。具体的なアイデアは無いが、緩やかな流れを感じるモニュメントなどがあれば良いと思う。

●江戸～明治～大正～昭和・平成と流れた時を彷彿とさせてくれる箇所がいくつもあり、いずれも魅力的な町並みであったことを再認識しました。そのような町に今では点在する歴史的な風情ある建物を残していくには、時代に合った合理性も求められるとも思います。過去の時代にあっては斬新なものも、時を経て未来には古典になっていくことを考えると、茶道の名物といわれるお道具の所有に似たところがあるような気がします。茶道ではそのお道具は、それを手にした者は次の所有者が所有するまでの預かりものとして大切に使用・利用されるという考え方があると聞きます。つまり、町並み景観を形成する町家・住宅・建物は、それぞれ個人の所有ではあるのですが、次の者が所有するまでの社会資本として適切に維持管理していくことが必要であるという考え方に通じるのですが、このような考え方は日本社会ではまだまだ希薄であるように感じます。中古市場の活性化や建造物に対する考え方の教育が必要かもしれません。建築協定なども柔軟に対応していくことも必要かもしれません。

●古いものも良く残してあり、新たな街づくり、変化の兆しも見られ、将来も楽しみな地域である。

９■今回の企画に対する感想など

●板五米店での休憩ができなかったのは残念でしたが、おとなりスタンド＆ワークスでの定食＋買い出しによる懇親会はなかなか面白かったと思います。(K/T)

●買ってきたものを食べる企画は珍しくて楽しかったです。ありがとうございました。(U/T)

●地域といった面ではなく、今回の企画のような線沿いのTEKU-TEKUも良いと感じた。(S/J)

●結構長く歩いて疲れました。(M/H)

●非常に面白いツアーでした。都電のホームにお茶屋があるのを初めて見ましたし、また、大正大学周辺エリアが平日にどのように地域・住民と学生らの交流関係、また状況になっているのか、はたして絵に描いたような「コミュティカレッジ」が形成されているのか等、統計あれば見てみたいところです。(Y/S)

●部分的な参加でしたが、たくさんのテーマが見つかりました。(S/M)

●とても楽しい企画をありがとうございます。おむすびカフェは再度伺ってみたい場所の一つになりました。(Ts/K)

●どこのエリアも交通の便がいいですね。元気のいい旧中山道・板橋宿の商店街、楽しかったです。(I/Y)

●濃密で大変楽しく歩けました。ありがとうございました。(Th/K)

コーディネイターより◆超有名な地蔵通商店街から庶民的な板橋宿まで、東京都内の旧中山道を歩く企画にお付き合い下さり、ありがとうございます。５キロも歩くので心配でしたが、皆さん元気に踏破いただきました。特に、懇親会場にお借りしたおとなりスタンド＆ワークスの永瀬さんに大変感謝いたします。リノベーションまちづくりの魅力を実感し、今後さらに期待します！（O/R）

板橋平尾宿の一角にはこんなレトロな洋風建築も

滝野川たねや街道に面する大正大学・中山道テラスにて